

非認知能力レンズで「いいところ」みっけ！！～非認知能力育成支援講座【全3回】を開催～

津山教育事務所管内の就学前の子どもを持つ保護者の方を対象に、6月20日、7月12日、10月24日の3日間にわたり、非認知能力についての講座を行いました。約25名の保護者の参加があり、熱心に学ぶ姿が見られました。

なぜ今、非認知能力？

岡山県教育委員会では、子どもたちの学びの原動力である夢を育む教育「**夢育**」を推進しています。

「意欲」や「自信」などの「**自分を高める力**」を中心に、「**自分と向き合う力**」「**他者とつながる力**」「**地域とつながる力**」という、4つの言葉でまとめられる「**非認知能力**」を、「夢育」を通して養っていきたいと考えています。

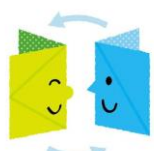
【岡山県教育庁教育政策課HPより抜粋】



自分を高める力



自分と向き合う力



他者とつながる力



地域とつながる力

非認知能力とは、思いやりや忍耐力、コミュニケーション力など**点数化できない力**のことです。岡山県教育委員会では、この非認知能力を上図のように、4つの力に整理しています。

講座では、非認知能力の基礎知識や、子どもたちに非認知能力を育むための大人の関わり方などを学びました。



ワークブック 岡山県教育庁生涯学習課



講座の参加者にはワークブックを配付し、これに沿って学習を進めました。

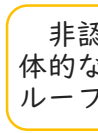
ホームワークも盛りこんでおり、講座で学んだことを家庭で実践し、学びを深めました。



参加者の声



講座の内容が勉強になったのはもちろんですが、同年代の子どもがいる他のお母さん、お父さん達も同じように悩んでいるという話に触れられたのもすごくありがたかったです。



非認知能力について言葉だけは知っていましたが、具体的な考え方や子どもへの声かけがわかりました。グループワークでは、自分にはなかった考えを学びました。



保育士さんから、もう少しプラスの考え方で子育てをしてみたらとよく言われていましたが、この講座を受けて保育士さんの言われていることが理解できました。

「非認知能力レンズ」を通して子どもを見ることで、子どもが何かをしている時に、結果だけに注目するのではなく、そのプロセスに注目することができるようになり、イライラすることが減ったように思います。子どもの成長をより感じるできるようになりました。

